

# 一般会計予算決算常任委員会記録

令和3年3月10日

【開催日】 令和3年3月10日

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午後1時30分～午後2時15分

【出席委員】

委員長	矢田松夫	副委員長	河野朋子
委員	伊場勇	委員	大井淳一朗
委員	岡山明	委員	奥良秀
委員	河崎平男	委員	笹木慶之
委員	水津治	委員	杉本保喜
委員	高松秀樹	委員	恒松恵子
委員	中岡英二	委員	中村博行
委員	長谷川知司	委員	藤岡修美
委員	松尾数則	委員	宮本政志
委員	森山喜久	委員	山田伸幸
委員	吉永美子		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰		
----	-----	--	--

【傍聴議員】 なし

【執行部出席者】

副市長	古川博三	企画部長	清水保
財政課長	山本玄	財政課課長補佐	村長康宣
財政課財政係長	野原崇史	財政課調整係長	鈴木一史

【事務局出席者】

事務局長	尾山邦彦	事務局次長	石田隆
事務局主査	島津克則		

【付議事項】

- 1 議案第9号 令和3年度山陽小野田市一般会計予算について

午後1時30分 開会

矢田松夫委員長 それでは一般会計予算決算常任委員会を開会します。本日の審査日程については、皆さん方のお手元に配付しております日程によって進めていきたいと思っております。それでは審査日程の1番ですが、先ほどの本会議で本委員会に付託されました議案第9号、令和3年度山陽小野田市一般会計予算について、執行部から予算の総括説明を求めます。

山本財政課長 令和3年度山陽小野田市一般会計予算につきまして、総括的な説明をします。お手元の予算書、予算に関する説明書の2ページをお開きください。第1条に定めておりますとおり、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ292億円であり、前年度当初予算と比較しまして1.5%、4億5,100万円の減額となっております。また、第2条におきまして債務負担行為、第3条におきましては地方債を定め、第4条におきまして一時借入金の最高額を70億円としております。なお、第5条におきましては、歳出予算における各項の経費の流用範囲を定めております。3ページを御覧ください。第1表、歳入歳出予算の歳入としまして、1款市税から6ページの22款市債までの款項の区分ごとの金額を記載しております。また、7ページ以降には歳出としまして、1款議会費から9ページの13款予備費までの款項の区分ごとの金額を記載しております。10ページをお開きください。第2表、債務負担行為としまして、人事給与システム構築・運用事業以下11の事業等につきまして、期間及び限度額を設定しております。11ページでは、第3表、地方債としまして、市民館整備事業債以下25の地方債につきまして、限度額、起債の方法などを定めております。次に、15ページをお開きください。歳入歳出予算事項別明細書の総括としまして、15、16ページでは歳入を、18、19ページでは歳出につきまして記載をしております。それでは、事項別明細書の歳入につきまして、款項を追って、その概要を御説明します。20、21ページをお開きください。1款市税、1項市民税におきましては、32億7,352万円を計上しております。個人市民税におきましては、新型コロナウイルス感染症等の影響を踏まえ、個人所得割の減を見込むほか、法人市民税におきましても、税制改正に伴う法人税割における税率の引下げの影響などもあり、減を見込んでおります。次に、2項固定資産税におきましては、50億8,314万1,000円を計上しております。滞納繰越分におきましては、令和2年度分の徴収猶予に係る増を見込むものの、土地においては、地価の下落修正などによる減、家屋におきましても、評価替えや一定の減収がある中小事業者を対象とした軽減措置等により減を見込むほか、償却資

産につきましても、同様の軽減措置等の影響もあり、減を見込んでおります。また、3項軽自動車税につきましてもは、環境性能割におきまして、臨時的軽減措置の延長等により減を見込んでおり、1億9,324万5,000円を計上しております。4項市たばこ税におきましては、税率の変更や近年の実績を踏まえ、5項入湯税ではコロナ禍における直近の実績等を勘案しております。また、22、23ページの6項都市計画税は、固定資産税と同様に中小事業者を対象とした軽減措置等の影響などを考慮しております。7項の旧法による税につきましてもは、令和元年10月1日から、軽自動車税が種別割へと変更されましたことから、従前の軽自動車税に係る税額を区分して計上しており、1款市税全体では、対前年度4.7%、4億6,621万8,000円減の95億196万8,000円を計上しております。次に、2款地方譲与税における、1項地方揮発油譲与税、2項自動車重量譲与税、3項特別とん譲与税、24、25ページの4項森林環境譲与税につきましてもは、それぞれ、国の示す地方財政計画の伸び率や実績見込みなどを勘案し、予算計上しております。2款地方譲与税全体では、対前年度6.2%、1,250万円減の1億8,850万円を計上しております。続きまして、24ページから27ページにおける各種交付金につきましても、地方財政計画や実績見込みなどを勘案しており、3款1項の利子割交付金につきましてもは25.0%、500万円減の1,500万円、4款1項の配当割交付金につきましてもは、前年度と同額の3,000万円を計上しております。また、5款1項の株式等譲渡所得割交付金は33.3%、500万円増の2,000万円、6款1項の法人事業税交付金につきましてもは6.2%、570万円増の9,800万円、7款1項の地方消費税交付金につきましてもは、税率の引上げや新型コロナウイルス感染症による影響等を踏まえ4.0%、5,000万円増の13億円を計上しております。続きまして26、27ページの8款1項のゴルフ場利用税交付金につきましてもは、実績等を勘案し3.1%、200万円減の6,300万円を計上し、9款1項の環境性能割交付金につきましてもは、臨時的軽減措置の延長等により5.7%、100万円減の1,650万円を計上しております。次に、10款1項の地方特例交付金につきましてもは、個人市民税における住宅借入金等特別税額控除や自動車課税における環境性能割の臨時的軽減による減収の補填であり8.3%、500万円増の6,500万円を見込んでおります。また、10款2項の新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金につきましてもは、中小事業者等を対象とした令和3年度限りの軽減措置によります固定資産税及び都市計画税における減収分の補填であり、1億4,800万円の皆増を見込んでおります。

続きまして、11款1項の地方交付税につきましては、普通交付税におきまして、市税等の減収に伴う基準財政収入額の減や公債費の増加等に伴う基準財政需要額の増を見込んでおり、対前年度1億9,000万円増の59億4,000万円を見込んでおります。また、特別交付税は、実績を勘案し6億5,000万円を見込み、11款全体では3.0%、1億9,000万円増の65億9,000万円を計上しております。次に28、29ページの12款1項交通安全対策特別交付金では、実績を勘案し15.4%、100万円減の550万円を計上しております。13款分担金及び負担金、1項分担金では、急傾斜地崩壊対策事業に係る地元分担金200万円を計上し、2項負担金では、高齢者福祉費負担金や保育所運営費負担金など1億6,544万6,000円を計上しており、13款全体では11.5%、1,722万円増の1億6,744万6,000円を計上しております。次に28ページから31ページまでの14款使用料及び手数料、1項使用料では、公の施設使用料、占用料、行政財産使用料などの実績を勘案し計上しており、勤労青少年ホーム使用料の皆減や公営住宅使用料の減などがあるものの、4月から市に移管されますサッカー交流公園に係る使用料の皆増などにより、3億2,864万4,000円を計上しております。また、30ページから33ページの2項手数料では、実績を勘案し1億2,189万1,000円を計上し、3項証紙収入では、指定ごみ袋の証紙収入として1,635万8,000円を計上しており、14款全体では1.2%、566万5,000円増の4億6,689万3,000円を計上しております。続いて、34、35ページの15款国庫支出金、1項国庫負担金では、公立学校施設整備費負担金の皆増や自立支援給付費、障害児支援給付費などの増があるものの、児童手当や子どものための教育・保育給付交付金、生活保護費などの減があり、32億1,516万4,000円を計上しております。次に34ページから37ページの2項国庫補助金では、学校施設環境改善交付金の皆減のほか、社会資本整備総合交付金などの減があるものの、道路更新防災等対策事業費の皆増のほか、個人番号カード交付事業費及び事務費補助金や地方創生推進交付金、保育所等整備交付金などの増により、4億3,225万4,000円を計上しております。また、38、39ページの3項委託金では、衆議院議員選挙事務費の皆増などにより、4,505万8,000円を計上しており、15款全体では1.4%、5,390万1,000円減の36億9,247万6,000円を計上しております。続きまして、同ページ中段からの16款県支出金、1項県負担金では、自立支援給付費や障害児支援給付費などの増があるものの、児童手当や子どものための教育・保育給付交付

金の減などにより、12億8,398万6,000円を計上しております。また、40ページから43ページの2項県補助金では、単県農産漁村整備事業費の皆減や、乳幼児医療助成費などの減があるものの、石油貯蔵施設立地対策等補助金などの増により、4億8,658万9,000円を計上しております。42ページから45ページの3項委託金では、国勢調査費の皆減などがあるものの、県知事選挙事務費や地域外来・検査センター事業費の皆増などにより、1億5,393万9,000円を計上しており、16款全体では4.0%、7,419万6,000円増の19億2,451万4,000円を計上しております。次に、44、45ページの17款財産収入、1項財産運用収入では、市有財産の貸付料や基金運用収入など1,327万5,000円、2項財産売払収入では、市有地の売払収入など937万6,000円を計上し、17款全体では9.3%、232万5,000円減の2,265万1,000円を計上しております。続きまして、46、47ページの18款寄附金、1項寄附金では、ふるさと寄附金の増により100.0%、1億3,000万円増の2億6,001万円を計上しております。46ページから49ページの19款繰入金、1項基金繰入金では、新幹線厚狭駅整備基金繰入金の皆増やふるさと支援基金繰入金の増などがあるものの、財政調整基金繰入金の減などにより46.5%、6億5,071万円減の7億4,861万5,000円を計上しております。48、49ページの20款繰越金、1項繰越金では、前年度と同額の3,000万円を計上しております。また、21款諸収入、1項延滞金、加算金及び過料では2,300万円、2項市預金利子では、3万円を計上しております。48ページから51ページまでの3項貸付金元利収入では、金融機関預託金元金収入や地域総合整備資金貸付金元金収入など2億4,472万5,000円を計上しております。次に50ページから55ページまでの4項雑入では、退職手当他会計負担金やリサイクル事業収益金などの減があるものの、地域外来・検査センター事業に係る検査検体搬送料や学校給食費の皆増などにより、6億4,647万2,000円を計上しており、21款全体では54.3%、3億2,167万3,000円増の9億1,422万7,000円を計上しております。56、57ページの22款市債、1項市債では、保育所施設整備事業債や児童クラブ室整備事業債、臨時財政対策債などの増があるものの、埴生地区複合施設整備事業債の皆減のほか、庁舎整備事業債や治水対策事業債、小学校整備事業債などの減により6.6%、2億880万円減の29億3,170万円を計上しております。続きまして、歳出について、款項ごとに御説明します。58、59ページをお開きください。58ページから61ページの1款

議会費、1項議会費では、議員報酬の増などにより、対前年度1.7%、402万6,000円増の2億3,731万5,000円を計上しております。次に、62ページから105ページの、2款総務費、1項総務管理費につきましては、26億1,795万円を計上しております。主な増減としまして、62ページから67ページの1目一般管理費では、中山間地育づくり推進事業費の10目への移行や空家対策事業費の13目への移行に伴う関連経費の皆減のほか、退職手当をはじめとした人件費の増などがあります。また、74ページから77ページの8目財産管理費では、財政調整基金積立金の減、76ページから79ページの9目企画費では、RPA等導入・支援委託料の皆減はあるものの、官民連携による商工センター跡地利活用事業に係るアドバイザー業務委託料や移住定住プロモーション業務委託料の皆増、きらら交流館再整備検討に係る調査委託料の増などがあります。続いて、78ページから81ページの10目地域振興費では、1目から移行した中山間地域づくり推進事業費の皆増や、ふるさと納税に係る報償金、ふるさと支援基金積立金の増、84、85ページでは、新たに13目空家対策費を設定し、1目から移行した関連経費のほか、特定家屋への対策費として工事委託料を計上しております。84ページから87ページの14目防災費では、J-ALERT情報伝達事業に係る機械器具費の皆減、90、91ページの20目自治会活動推進費では、防犯外灯設置補助金や自治会館建設補助金の減、92ページから95ページの22目文化振興費では、県央連携事業に係る備品購入費や、現代ガラス展実行委員会負担金の皆減、98ページから101ページの26目スポーツ振興費では、山口県立おのだサッカー交流公園負担金の皆減、100ページから103ページの27目スポーツ施設費では、サッカー交流公園の管理運営経費の皆増、102、103ページの28目厚狭地区複合施設費では、保健センター空調機器更新事業費の増などがあり、29日本庁舎改修事業費、104、105ページの30目市民館改修事業費では、改修工事の進捗に伴う事業費の減があります。また、新たな目となります31目新型コロナウイルス対策費では、新生児応援金や新型コロナウイルス等感染症対策基金積立金などを計上しております。次に、104ページから109ページの2項徴税費では、2億6,561万1,000円を計上しており、主な増減としましては、人件費や市税に係る償還金、固定資産総合鑑定評価委託料の増などがあります。108ページから111ページの3項戸籍住民基本台帳費では、1億8,839万4,000円を計上しており、主な増減として、マイナンバーカードの交付関連事務費や人件費の増などがあります。続いて、112ページから123ページの4項選挙費で

は、1億8,032万5,000円を計上しており、衆議院議員選挙費、県知事選挙費、市議会議員選挙費の皆増や、市長選挙費の増などがあります。次に、122ページから125ページの5項統計調査費では、国勢調査費の皆減などがあり、1,359万6,000円を計上し、124ページから127ページの6項監査委員費では、2,911万5,000円を計上しております。また、126ページから129ページの7項大学費では、運営費交付金や授業料等減免補助金の増などがあり、17億4,726万5,000円を計上しており、2款全体としましては4.8%、2億5,408万2,000円減の50億4,225万6,000円を計上しております。続きまして、128ページから147ページの3款民生費、1項社会福祉費につきましては、51億6,279万2,000円を計上しております。主な増減として、128ページから133ページの1目社会福祉総務費では、介護保険特別会計繰出金の減、132ページから139ページの2目障害者福祉費では、扶助費における児童発達支援給付費、放課後等デイサービス給付費の増や、居宅介護等給付費、自立支援医療給付費の減、138ページから141ページの3目高齢者福祉費では、老人保護措置費の増などがあります。次に、146ページから163ページの2項児童福祉費につきましては、46億8,378万7,000円を計上しております。主な増減として、146ページから151ページの1目児童福祉総務費では、私立保育園に対する施設整備補助金の増、150ページから153ページの2目児童措置費では、制度拡充に伴う子ども医療助成費の増のほか、私立保育園に係る保育所運営費や私立幼稚園運営費負担金、児童手当などの減、152ページから157ページの4目保育所費では、山陽地区公立保育所整備事業費の増などがあります。162ページから165ページの3項生活保護費につきましては、12億5,252万7,000円を計上しており、164、165ページの2目扶助費では、生活扶助費や医療扶助費の減などがあります。また、164ページから167ページの4項災害救助費では、災害援護資金貸付金元金償還金の減などがあり、155万4,000円を計上しており、3款全体としましては0.1%、646万円減の111億66万円を計上しております。次に、166ページから183ページの4款衛生費、1項保健衛生費につきましては、12億5,519万7,000円を計上しており、172、173ページの2目予防費では、予防接種委託料や抗体検査委託料の減などがあります。また新設の目であります、180ページから183ページの7目新型コロナウイルス対策費では、地域外来・検査センター事業費やワクチン接種事業に係る人件費を計上しております。182ページから189

ページの2項清掃費につきましては、10億9,300万7,000円を計上しており、主な増減として、184ページから187ページの2目塵芥処理費では、環境衛生センターに係る維持補修費やごみ処理施設運転管理業務委託料の増、186ページから189ページの3目し尿処理費では、小野田浄化センターにおける検査業務委託料や設備更新に係る工事請負費の増などがあり、4款全体としましては7.9%、1億7,176万1,000円増の23億4,820万4,000円を計上しております。188ページから191ページの5款労働費、1項労働諸費では、就労支援業務委託料の皆減や人件費の減などがあるほか、190、191ページの勤労青少年ホーム費は、廃目となり、5款全体としましては37.7%、2,319万6,000円減の3,839万8,000円を計上しております。続きまして、192ページから203ページの6款農林水産業費、1項農業費につきましては、3億1,897万8,000円を計上しており、主な増減として、194ページから197ページの2目農業総務費では、地方卸売市場事業特別会計繰出金の皆減や山陽有線放送電話共同設置協会本部局舎撤去事業費の皆増、198ページから201ページの4目農地総務費では、農業集落排水事業への繰り出しの減、200ページから203ページの5目土地改良事業費では、県営経営体育成基盤整備事業に係る調査設計委託料や県事業負担金の減などがあります。202ページから205ページの2項林業費につきましては、3,592万6,000円を計上しており、202ページから205ページの2目林業振興費では、地域が育む豊かな森林づくり推進事業委託料の皆増や、森林経営管理事業に係る調査委託料の増などがあります。204ページから209ページの3項水産業費につきましては、1億3,165万7,000円を計上しており、主な増減として、204ページから207ページの1目水産業総務費では、西の浜排水機場に係る雨水ポンプ修繕事業費の皆減、206ページから209ページの3目漁港建設費では、海岸保全施設整備事業費の増などがあり、6款全体としましては0.2%、78万5,000円増の4億8,656万1,000円を計上しております。続きまして、208ページから219ページの7款商工費、1項商工費につきましては、主な増減として、208ページから213ページの1目商工総務費では、交通施設バリアフリー化整備事業補助金の皆増や地方バス路線維持費補助金の増、212ページから215ページの2目商工振興費では、ガラスのブランド化推進事業委託料の増のほか、用地取得奨励金の皆減や工場設置奨励金などの減、216ページから217ページの4目観光宣伝費では、熱気球体験搭乗業務委託料の皆増や山口ゆめ回廊博覧会の実施に伴う山口県央連携

都市圏域事業負担金の増などがあり、7款全体としましては38.8%、3億9,784万円減の6億2,670万7,000円を計上しております。次に、218ページから221ページの8款土木費、1項土木管理費では、県事業負担金などの減があり、6,130万8,000円を計上しております。また、220ページから227ページの2項道路橋りょう費につきましては、3億4,472万4,000円を計上しており、主な増減として、222ページから225ページの3目道路橋りょう維持費では、六の割ポンプ場発電機更新事業費の皆増、224ページから227ページの4目道路新設改良費では、通学路安全対策事業費の増や市道改良事業費の減などがあります。226ページから229ページの3項河川費につきましては、東下津地区内水対策施設整備事業費の皆減などがあり、5,053万7,000円を計上し、228、229ページの4項港湾費につきましては、小野田港港湾整備に係る県事業負担金の増などがあり、8,334万4,000円を計上しております。続きまして、230ページから239ページの5項都市計画費につきましては、14億8,867万3,000円を計上しており、主な増減として、230ページから233ページの1目都市計画総務費では、都市計画道路整備に係る県事業負担金の減や下水道事業に対する繰出の増、232ページから237ページの2目緑地公園費では、最終処分場一体緑地償還金や江汐公園施設整備基金積立金の皆減、236、237ページの3目建築指導費では、大規模盛土造成地の変動予測調査事業に係る調査委託料の皆増などがあるほか、都市再生整備事業費は、廃目となっております。また、238ページから241ページの6項住宅費におきましては、市営住宅維持管理事業として、外壁改修工事や屋根防水工事などがあり、2億1,196万6,000円を計上しております。8款全体としましては14.0%、3億6,440万3,000円減の22億4,055万2,000円を計上しております。次に、240ページから245ページの9款消防費、1項消防費につきましては、主な増減として、240ページから243ページの1目常備消防費では、山陽消防署埴生出張所建設基金積立金の皆増、242ページから245ページの2目非常備消防費では、消防団車両等整備事業費の皆減や埴生分団庫整備事業費の増、244、245ページの3目消防施設費では、山陽消防署埴生出張所整備事業費の皆増や消火栓負担金の増などがあり、9款全体としましては11.5%、1億1,709万6,000円増の11億3,863万3,000円を計上しております。244ページから251ページの10款教育費、1項教育総務費につきましては、人件費を中心に2億8,497万7,000円を計上しております。次に、25

0 ページから 257 ページの 2 項小学校費につきましては、7 億 2, 574 万 7, 000 円を計上しており、主な増減として、254 ページから 257 ページの 2 目教育振興費では、教科書改訂に伴う教員用教科書等の購入費の減や G I G A スクール推進事業に係る通信料、人材派遣委託料の皆増、256、257 ページの 3 目学校建設費では、高千帆小学校校舎整備事業費や旧埴生小学校グラウンド南側法面整備事業費の増、埴生小中学校整備事業費の減などがあります。256 ページから 261 ページの 3 項中学校費につきましては、1 億 6, 133 万 9, 000 円を計上しており、主な増減として、258 ページから 261 ページの 2 目教育振興費では、教科書改訂に伴う教員用教科書等の購入費の増や G I G A スクール推進事業に係る通信料、人材派遣委託料の皆増、260、261 ページの 3 目学校建設費では、厚狭中学校トイレ改修事業に係る設計委託料の皆増などがあります。260 ページから 265 ページの 4 項幼稚園費では、給食費の公会計化に伴う賄材料費等の皆増などがあり、3, 970 万 5, 000 円を計上しております。また、264 ページから 283 ページの 5 項社会教育費につきましては、5 億 258 万 9, 000 円を計上しており、272 ページから 277 ページの 3 目図書館費では、図書システム更新事業費の皆増、282、283 ページの 8 目埴生地区複合施設整備事業費では、事業の進捗に伴い、工事請負費や備品購入費の皆減などがあります。次に、282 ページから 289 ページの 6 項保健体育費につきましては、7 億 6, 044 万 2, 000 円を計上しており、284 ページから 289 ページの 2 目給食費では、学校給食費の公会計化に伴う賄材料費等の増などがあります。10 款全体としましては 1.8%、4, 495 万 2, 000 円増の 24 億 7, 479 万 9, 000 円を計上しております。続いて、288、289 ページの 11 款災害復旧費、1 項鉦害復旧費では、前年度と同額の 9 万円を計上し、12 款公債費、1 項公債費につきましては、1 目では、地方債元金、2 目では、地方債利子及び一時借入金利子の償還金を計上しております。近年の借入金利の情勢などによる地方債利子の減はありますが、合併特例債等を活用した大型建設事業や臨時財政対策債に係る地方債元金の増により、12 款全体としましては 8.1%、2 億 5, 636 万 1, 000 円増の 34 億 1, 582 万 5, 000 円を計上しております。また、ページ下段の 13 款予備費、1 項予備費では、前年度と同額の 5, 000 万円を計上しております。続きまして、291 ページから 306 ページでは、当初予算における給与費明細書のほか、債務負担行為や、地方債に関する調書を掲載しております。最後に、財政指標につきましては、財政力指数は、3 か年平均で 0.599、実質公債費比率は 8.1%を

見込んでいるところです。以上、令和3年度一般会計予算の歳入歳出に係る総括的な説明をしました。御審査のほど、よろしくお願いします。

矢田松夫委員長 執行部の説明が終わりました。質疑については全体的に共通する部分がありましたら、この場で質疑を行いたいと思います。総括的にありましたらお願いします。

森山喜久委員 292ページ。会計年度任用職員の手当の関係ですが、時間外勤務手当の前年度が18万円で本年度は290万円というふうな形で大幅に増額されていますが、その理由はこういったことでしょうか。

山本財政課長 詳細については、私どもでは分かりかねますので、申し訳ありません。

矢田松夫委員長 各分科会で該当する部分がありますので、そのときにお答えするということですね。「はい」と呼ぶ者あり）ほかにございませんか。

藤岡修美委員 実質公債費比率が8.1、財政力指数が0.599ということで、令和2年度に比べて下がっているんですけども、義務的経費構成比は48.5で、令和2年度と比べて若干上がっております。我が市の財政状況をどのように財政当局は判断されているか、説明をお願いします。

山本財政課長 実質公債費比率、財政力指数の辺りを見られてということだと思いますが、実質公債費比率は実際に数値が小さいほど、財政の負担は少ないということで、改善したかに見えますが、これはあくまでも、3か年平均の数字になりますので、今後、この数字は上がっていくだろうというふうに思っております。それから、義務的経費の辺りの話になりますが、財政の硬直度高いといえますか、その辺りの話かなと思いますけども、今、経常収支比率は、これも前年の数値、当初予算上の数値と比較すると、改善したような形でお示ししておりますが、これも、例えば令和3年度については、令和2年度の税の徴収猶予分が一部、2億円弱ですけども、予算の中に入ってきているということもありまして、数値が良いように見えるわけですけども、実際には、それほど良い数字ではなくて、このままの数字であっても割と高いかなという印象を持っていますけども、これから歳出改革等を通じて、財政の健全化に努めていく必要があるというふうに思っています。

矢田松夫委員長　ほかに御質疑はありますか。「なし」と呼ぶ者あり）なければ以上で質疑を終わります。予算については各分科会で慎重なる審査をお願いしまして、一般会計予算決算常任委員会を散会します。

---

午後 2 時 1 5 分　散会

---

令和 3 年 3 月 1 0 日

一般会計予算決算常任委員長　矢　田　松　夫